第1回浜田市保健医療福祉協議会高齢者福祉専門部会 会議録

会　議　名	第1回浜田市保健医療福祉協議会高齢者福祉専門部会
開催日時	令和8年10月9日（金）18：30～19：25
開催場所	浜田市役所第2東分庁舎2階南会議室
会議の担当	健康福祉部　高齢障がい福祉課
議　題	1　計画策定スケジュールについて 2　第10期介護保険事業計画施策体系案について 3　浜田市高齢者福祉計画の素案について
公開・非公開	公開(傍聴者0名)

【出席者】

委　員 （11名）	大屋委員、高田委員、柳樂委員、田屋委員、山藤委員、 三浦委員、畑本委員、山本委員、服部委員、小池委員、 小松原委員
事　務　局 （4名）	木原高齢障がい福祉課長、紀健康増進担当課長、 小松高齢者福祉係長、原田高齢者福祉係専門技術員、
高齢者福祉計画 策定業務委託先	株式会社ウェルウェル 亀居保健福祉グループ長

1　高齢障がい福祉課長挨拶

2　会議成立報告

12名中11名の出席により、委員の半数を満たす。

3　部会長、副部会長の選出

大屋委員が部会長に、高田委員が副部会長に選出された。

4　大屋部会長挨拶

5　議題

⑴　計画策定スケジュールについて

令和9～11年度に向けた今後の策定スケジュール（12月に素案確認、1月にパブリックコメント、3月に最終報告など）を確認し、承認された。

⑵　第 10 期介護保険事業計画施策体系（案）について

介護保険事業計画と整合性を取る形で、取り組み目標等を整理・確認した。

⑶　浜田市高齢者福祉計画の素案について

【委員意見と今後の方向性（案）】

No	項目	委員名	現状の指摘・課題	次期計画における施策の方向性（案）
1	計画全体の文章・構成の見直し	小松原委員、柳樂委員	専門用語や漢字が多く、計画が誰に向けたものか分かりにくい。基本理念も難しい。用語解説を加えてほしい。	市民にも伝わる表現の検討。用語解説を追加。特に読んでほしい内容を明確にする。
2	緊急通報装置・一人暮らし高齢者の見守り	三浦委員、小松原委員	緊急通報装置を利用していても発見が遅れた事例がある。緊急時の協力者や鍵の管理、通報後の対応への不安もある。	通報後の対応手順、協力者の役割・負担、家族が遠方にいる場合の連絡体制の検討。鍵の保管や緊急時の立入りについての検討。
3	地区社協等の地域活動のあり方	三浦委員	地区社協の活動が補助金の配分にとどまっているとの意見があり、地域に根差した活動体制の見直しが必要。	現行の地区社協・サロンの活動や支援状況を確認し、地域課題の把握や見守りにつながる支援のあり方を検討する。
4	訪問型サービスＣの説明・実施方法	田屋委員	対象者、内容、ヘルパーサービスとの違い、実施主体や委託先が分かりにくい。	対象者、期間、支援内容、専門職の関わり、利用開始までの流れ、既存サービスとの違い明記。
5	緩和型サービスの継続・提供体制	服部委員	事業所の採算が合わず、撤退が起きている。必要な人にサービスを届けるため、事業所をどう支えるかが課題。	浜田地区広域行政組合と協議し、事業所の状況やサービス需要、報酬・支援策などの検討状況の確認。
6	災害時の要配慮高齢者支援	服部委員、山藤委員	避難支援の登録や個別の支援体制がどこまで進んでいるか不明。高齢者施設への支援も計画に記載してほしい。	登録状況、支援者の確保、個別避難計画や訓練の状況を確認する。高齢者施設への支援・連携も計画に加えることを検討。

No	項目	委員名	現状の指摘・課題	次期計画における施策の方向性（案）
7	身寄りのない高齢者への支援	小池委員	親族がほとんどいない人への支援は現場の負担が大きく、具体的な取組を計画に示してほしい。	相談窓口、関係機関の連携、権利擁護・成年後見、入院・入所時等の支援課題を整理。
8	ACP の普及と救急・消防等との連携	柳樂委員	ACP の普及対象に救急・警察関係者も含める必要がある。本人の意思を救急現場でどう確認・尊重するかが課題。	計画に記載できるか検討。
9	在宅医療・介護連携における市の役割	柳樂委員	医師会等に委ねる記述ではなく、市が主体として何を行うのかを明記してほしい。	市の役割、関係機関との連携方法、実施する事業・支援を整理し、市を主語とした記述に。
10	認知症への理解と地域での受入れ	三浦委員	認知症の人が地域やサロンから敬遠されることがあり、住民の理解促進が必要。	住民向けの普及啓発や、参加しやすい地域活動の取組を具体化する。講演会以外の方法も含めて検討する。
11	認知症以外の精神疾患等への支援	田屋委員	認知症と診断されていない精神疾患や、近隣トラブル等を抱える高齢者への支援も必要。	認知症に限らず、精神的な課題や生活上の困難を抱える高齢者への相談・連携支援を、計画のどこに位置付けるか検討。
12	介護人材の確保・定着	高田副会長	人材確保の裾野を広げる施策、採用後の定着支援、外国人材を含む支援が必要。学校等への情報発信も具体化してほしい。	介護の仕事を知ってもらう機会、事業所・関係団体との連携、採用・定着支援の案を整理する。取組の評価方法も検討する。
13	高齢者クラブ等への支援内容	服部委員	「活動を支援する」の具体的内容が、財政支援なのか人材支援なのか分かりにくい。	補助金、出前講座、職員派遣など、現行の支援内容と今後の支援方針を分けて記載。
14	予防接種と介護予防の関連	柳樂委員	高齢者の予防接種が、入院や身体機能低下の予防にもつながる視点を計画に含めてはどうか。	健康づくり・介護予防との関連を整理し、計画に記載できる内容があるか確認。

No	項目	委員名	現状の指摘・課題	次期計画における施策の方向性（案）
15	国の介護サービス関連モデル事業等の確認	三浦委員	中山間地域等を対象とした制度について、浜田市・圏域で活用を検討できないか。	浜田地区広域行政組合と検討。

6　その他

次回会議について

開催予定：12 月上旬～中旬の木曜日夕方

今回出された意見を反映した修正案を提示する予定